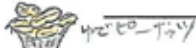


お茶の時間



9月9日、テニスの錦織圭選手が全米オープンシグル末勝戦で敗れた。ラウ〜ン 残念。でも錦織の大活躍で気分がいい。久し振りに晴れやかな気分。想像も出来ないほどの努力なのだろうな。

錦織の活躍でにわかテニスファンが増えた。と嘆き新もあつような。いいじゃありませんか。

世阿弥の言葉は、奥が深い。

未熟であった時の最初の試練や失敗こそが「初心」という言葉の本當の意味。と、世阿弥の言葉の中、能楽評論家の土屋忠初さんか述べているような。

初心
忘る
づからず

(世阿弥)

心に響く言葉

えだまゝめ

ぴゅひゅ〜



ネット動画で、外国の幼い子らがサヤカう龍が出す枝豆をキャッチして大笑いしている様子が見られる。今や枝豆は世界の様々な国に伝わり、多くの人がその美味しさに魅了されている感じは画面から伝わった。

新海は9月11日、いままで美味い枝豆を味わえる。ほぼ毎日食卓に上がる我が家。ニールで山形の枝豆を取り上げられるたびに、なぜ新海は枝豆ではないのか、と口惜しい思いにさせられる。新海自慢の黒崎茶豆は、山形の枝豆と豆の種。元豆の皮を剥き、山形を2つ目にする。元豆の皮を剥き、山形を2つ目にする。元豆の皮を剥き、山形を2つ目にする。

脳細胞の活性化を促すので、記憶力や集中力が増大されることにより、老後の予防になることや、余分な脂肪の排出を促して動脈硬化や脂肪肝の予防にも効果的である。又、トリプトファンという成分も豊富に含まれている。

トリプトファンとすることで、不眠症の予防や改善などに役立つとされている。これらの相乗により、記憶力や集中力も一層、高まることになる。

NHK番組「たのしさがテンビー」出演後、数日立った枝豆も、残った枝豆も、花びらも、のと同じ位のおいしさになる。茹で方を間違えていない。

湯の量に對して、塩2%、砂糖2%の茹でる。流通の茹でた美味いもの、の味に味を味するよ、たはな、や、り、現、地、で、直、接、茹、で、る、よ、う、に、差、は、歴、然、。

季節問わず、とにかく美味いもの、豊富に新海にぜひ、お楽しみください。

歯のよもやま話 第二十三話

歯と文学 — 和歌

文学に出てきた「歯」についてお話ししましょう。

まず和歌について。

万葉集には残念ながらそのものずばりはないようです。平安時代の古今集や新古今集は、恋歌や花、季節の移り変わり等に重きを置いたものが主題のためどうも見あたりません。

しかし時代も下がってくると歯のようにな俗っぽい内容のものも出てくるようになります。内容は子ども歯が生えた、歯が白くてきれいだ等肯定的なものもありますが、ほとんどは歯が痛いとか歯が抜けてしまったというさびしさを詠んだものが多いようです。

長野市の善光寺の堂照坊に親鸞聖人の七十四歳の時抜けた歯が祀られているそうです。抜けた時「いつのまにかみに霜おきひと齒落ち 身にしてみてこそ南無阿彌陀仏」と詠まれたそうです。

古事記伝を書いた本居宣長も、六十六歳の時に入歯をいれ、「思いきや 老いのくち木に春過ぎて かかる若葉の又おひ(い)んとは」と歌を詠んでいます。

若山牧水の歌に「われを恨み 罵りはてに嚙(つぐ)みたる 母のくちもとにひとつの歯もなき」というのがあります。口を閉じているのに歯がないことがわかったというので、入歯はなくてしわくちやの唇だったのでしょうか。また「白玉の歯にしみとほる秋の夜の酒はしづかに飲むべかりけれ」が有名です。

石川啄木「痛む歯をおさへつつ 日が赤赤(あかあか)と冬の鶯(もや)の中に

のぼるを見たり(悲しき玩具)。「夏来ればうがひ薬の病(やまひ)ある 歯に沁(し)む朝のうれしかりけり(一握の砂)」。歯が痛かったのですね。「ひややかに 蠟(びん)のならべる棚の前 歯せせる女をかなしとも見き(二握の砂)」。というのもあります。

与謝野晶子「ゆく水のざれ言きかす神の笑(まひ)御歯みはあざやかに花の夜あけぬ(みだれ髪)」。なんとなく艶めかしいですね。

斎藤茂吉「歯をもちて割るはしばみの白き実を従ひてくる妻に食はしむ」。欧州留学中現地に妻輝子を迎え、共にヨーロッパ各地を旅行中の作です。楽しい気分が伝わってきます。

正岡子規「下総の結城の里ゆ送り来し春の鶯(うずら)をくはん歯もがも」。病床にあつて食べることに関心がありませんでした。それなのに歯を悪くして食べられなくなった時の歌です。弟子の長塚節が送ってくれた鶯を食いたいのには……。

会津八一「はべりたつ どうじがくちのとがりはの あなすがすがしとしのへぬれど」。高野山明王院の不動明王の脇侍の童子の歯がとんがっていてなんと清々しいことである。長い年月が経っているのに。

相馬御風(早稲田大学校歌都の西北作者・歌人・良寛研究家)「鬼追ふと 力をこめて撒きたりし 豆はひろへど 嘔まむ歯ぞなき」五十八歳の作。歯周病がひどかったようです。「串あさり もだし食みつつ われとわが 歯のおとろへをさびしみにけり」

なんだか寂しい話が多いですね。

子田晃一

もう秋だあ！ で、あれこれ夏の思い出

大輪のひまわりを咲かせて、「大輪」と表示の種を買い、苗になったところで敷地内3分折に移植した。肥料は同様に与え、水まきも忘れずおこなったのに、自宅スロープ側花壇の苗ばかりすくすく育ち、他の苗はヒョロッとして成長もゆるりた。

結局、種の袋の写真のようなひまわりのように堂々と咲いたのは自宅の折むじりとなった。日差し、場所、風の当たり具合？とあかぬ考えだが、秋のこの場所た植えてある花物は毎年この季節になると美しい姿を見せてくれるし... どうしてか？

日除け用にと4年前にプランターで咲かせた朝顔は、片付けの後おたく種もまかず、プランターも処分したのはアスファルトの間から芽を出して蔓を伸ばし毎夏愛らしい花を咲かせてくれる。来年は、採ったひまわりの種を早目に育て再度挑戦してみようか。



左の葉の横で遠慮がちに咲いたひまわり(ハム仲間)



明日の朝のさなは香気に構えているとビックリする程大きくはなして。みずみずしさか味をカバーしてくる。

きゅうりせんはきゅうりせんなのかうれしいのね。まじおろし文、倉藤素久絵「いっほいやささん」という絵本を開くと先ずきゅうりか。表紙はトマト。夏になるとこの絵本を読みたくなる。庭に小さな野菜畑を作り、今年初めてきゅうりの苗を本植えた。強風にあおられ二本は折れたが、残った一本に次々おみずし、きゅうりが生った。隣家の庭の苗床を参考にしたらう支柱を立てネットを張った。お隣りは元々農家の方のとうもろこしは歴然。きゅうりもトマトも見違はす。次々と育つてくると収穫の音が体験が満足だ。お隣りにとれどこのきゅうりをたつかり加え、ポテトサラダを作り、又か漬物やそのままホリホリも味あつた。



今も地面に広めて蔓をのびた。大は107cmだ。暑さにあけず/今も元気。

新鮮、しあわせ。

スーパームーン



撮影: 御体館 (アポロ、いかに文明開化イカラ館 もお楽しみ下さい)

月明かりで目覚め時かよくなる。9月8日、9日 輝く月、愛でました。おでたあひたあ月か〜おおいおおいおもしろい〜盆のよ〜な月か〜。10月には皆既月食のめらめらおのきと月。空気がおいしい。



私専用の、薩摩切子の盃。20年前、夫の初めのお祝い。



得月(とくげつ)、幸酒造

いいもの みつけ!

新潟市中央区にある割烹 佐藤 幸次郎 さん。夫の誕生日を祝った。ボトルで、美酒・萬寿(まんじう)を注文したら注ぎ口が取り付けられていた。あら、これは便利。ここで置くことできるから?と聞くと、ハイと嬉しい返答が。帰宅して改めて見ると、バックスワインホルーストッパー付き 台湾製とあった。販売は、金物で有名な、新潟県燕市の佐藤金属興業株式会社。

ワインストッパーは持っているが注ぎ口もあつたのは初めてみた。注ぎやすくして飲みすぎを防止するんだ。

割烹での購入価格は950円だったかな? ネットで調べたら750円程。但し送料がかかる。

美酒に添えての贈りものにきっと喜ばれそうですよ。

中秋の名月の夜は、おひらりと飲みまじらせた。

おもしろしんぶん館へ行こう。新聞をもっと身近に。新潟日報は、子ども向けに取組に熱心だ。週刊誌も新聞にみるみるは、ルビがみえてある。平仮名が読めれば、小さな子どもでも楽しめる。年代に特約転換、本社を大幅改装し、「おもしろしんぶん館」を開設した。24日(今)から名以上の団体予約の無料公開を開始する。解説者かつ館内を案内する。最新鋭のものにカラフル印刷技術は、最新鋭のものにみられる機会だ。皆さん誘って、おもしろしんぶん館へ。平日午前9時半〜午後5時半。問い合わせ 025(378)9290 新潟市(西区)

デンクが熱狂していった何? 蚊取線香のコーナーは夏の風物詩。うらやま、今夏も暑か出たの、変ねえ

月のつばやき